

授業科目 社会調査

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	社会
鈴木 未来		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 ＊本掲載内容は平成20年度のものです。詳細は担当教員よりお知らせします。 保健医療福祉分野においては、利用者に提供するサービスの必要性に対して関心が高まっている。そうした場合に、単に量的側面にとどまらず、近年においては質的側面に対しても具体的に明らかにすることが求められつつある。 そこで、本講義においては、社会調査の手法における基礎的知識の習得を通して、実際に社会調査を実施することが可能になることを目指すとともに、その理論的解釈のための基礎的知識の取得をも目指すこととする。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 社会調査法の役割を理解する 2. 社会調査法と保健医療福祉サービスの関連性を理解する 3. 調査デザインを理解する 4. 標本抽出の論理を理解する 5. 調査票の作成方法を理解する					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション他				講義
2	社会調査の役割			1	講義・ディスカッション
3	社会調査と保健医療福祉サービスⅠ（総論）			2	講義・ディスカッション
4	社会調査と保健医療福祉サービスⅡ（事例）			2	講義・ディスカッション
5	調査の目的についてⅠ（仮説の構築と仮説の検証）			3	講義・ディスカッション
6	調査の目的についてⅡ（目的と手段の関係性）			3	講義・ディスカッション
7	分析単位について			3	講義・ディスカッション
8	全数調査と標本調査について			4	講義・ディスカッション
9	標本調査の種類について			4	講義・ディスカッション
10	仮説の構築とサンプリングについて			4	講義・ディスカッション
11	標本と分析手法との関連性について			4	講義・ディスカッション
12	調査票の作成方法について（総論）			5	講義・ディスカッション
13	調査票の作成方法について（尺度）			5	講義・ディスカッション
14	まとめ1				講義
15	まとめ2				講義
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 教場試験 授業への参加度（授業内課題）		【履修上の留意点】 授業時間内の積極的な取組みを望む。 <参考> 教科書の指定はありませんでした。			